

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

薬剤師を目指した時に、総合大学で学べたことを考えた。高校2年生でオープンキャンパスに参加した時、施設が新しく、充実しており、国試対策のサポートがしっかりしていると思ったからです。

(2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

私は高校1年生の時から薬学部を目指していましたが、ずっと化学が苦手でした。このままではだめだと思い、春休みからスタディサクリードを使い、理論を何度も繰り返し復習しました。苦手を克服するから、最低でも春休みから1学期の間に終わらせておくべきだと思いました。英語は毎日30分くらい心がけていました。

[夏休み]

夏休みには補習で無機が物まわりの学習にスタディサクリードを使い、復習と補習を受けるようにしていました。無機は覚えられないと思うかもしれませんが、問題集を使い、確認を行い、わからなかったら教科書を調べ、同じものを何回も繰り返せば必ず覚えられます。それから化学の覚えるべき部分も覚えたいものがあります。基本的には聞かされたら必ず答えるようにして覚えるべきだと思いました。私は英語は結構自信があったので、むしろ新入生と長文を読んでいた。

[2学期～入試直前]

夏休みの前半が無機を完璧にし、後半から有機を物めました。この時期は復習と学習が本当に大変でした。化学に関しては大学の過去問を解くことが多く、似たような問題が出ても対応できるように問題集を何冊も読みました。リードでいえる問題は完璧に解けるようにしました。しかし、入試に出る問題の特徴はあつて、1度は解いておけることをおぼろげに覚えます。英語は長文を読めたら単語を覚え、文法がわかる程度でいいから、解けると思えます。自分がどのような入試方法をするかにもよりますが、公募推薦を9月受ける場合、11月には体調管理、モチベーションの維持が想像以上に大変です。自信があつてあつてこそ結果はついてきます。本番は自信たっぷりに臨みましょう！

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私の学校は土日祝日、毎日自習室が開いており、同級生も多くの人が使っていたので、自習室が勉強できる。すごく集中でき、やる気も出ました。学校に行けば、スマートフォンを使っているのが、たまには学校で勉強するようになる。スランプについては、私にはありませんでした。英語はどの学部でも必要なので、化学は薬学部に進むなら必須です。だからといって、将来のことを考えると、必死に勉強するべきです。健康面では、毎日3食食べて、12時には寝るようになっていました。無理をして、夜中まで勉強するのはありませんでした。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験は思っている以上に大変なことだと思います。また、スタートダッシュをいかに早く始めるかにもよります。塾の先生からいろいろと聞かされるかもしれませんが、本当の事は、経験した人にしかわかりません。しかし、必ずやる必要はありません。行きたい大学、将来の夢を思い、乗り越えたいと思います。がんばってください！